

2016年 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 由利本荘  
第2分科会テーマ

「地域が育む小中連携・一貫教育とコミュニティ・スクール」

# 地域総ぐるみで応援する一貫教育 ～子どもの『夢』は 地域の『夢』～

～中山中学校区

『地域協働学校』の取組～



岡山市教育委員会事務局指導課  
課長補佐 植山 智恵

岡山市立中山小学校  
校長 徳永 充生

岡山市の教育が目指す市民協働の人づくりのイメージ

## 自立する子ども

共に生きる

豊かな人間性

自分を高める

「人・もの・こと」との関わりを深めながら、学び続ける子どもの育成

学びの高まり  
(縦のつながり)  
**岡山型  
一貫教育**  
・中学校区で、教育観や指導観などを共有する  
・異校種の良いところを取り入れる

学校園

学びの広がり (横のつながり)

**地域協働学校**

行政

事業者

家庭

地域社会

・中学校区を一つの地域と見なし、学校園、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たす  
・保護者、地域住民が学校運営に主体的に参画する

岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例 (岡山っ子育成条例)

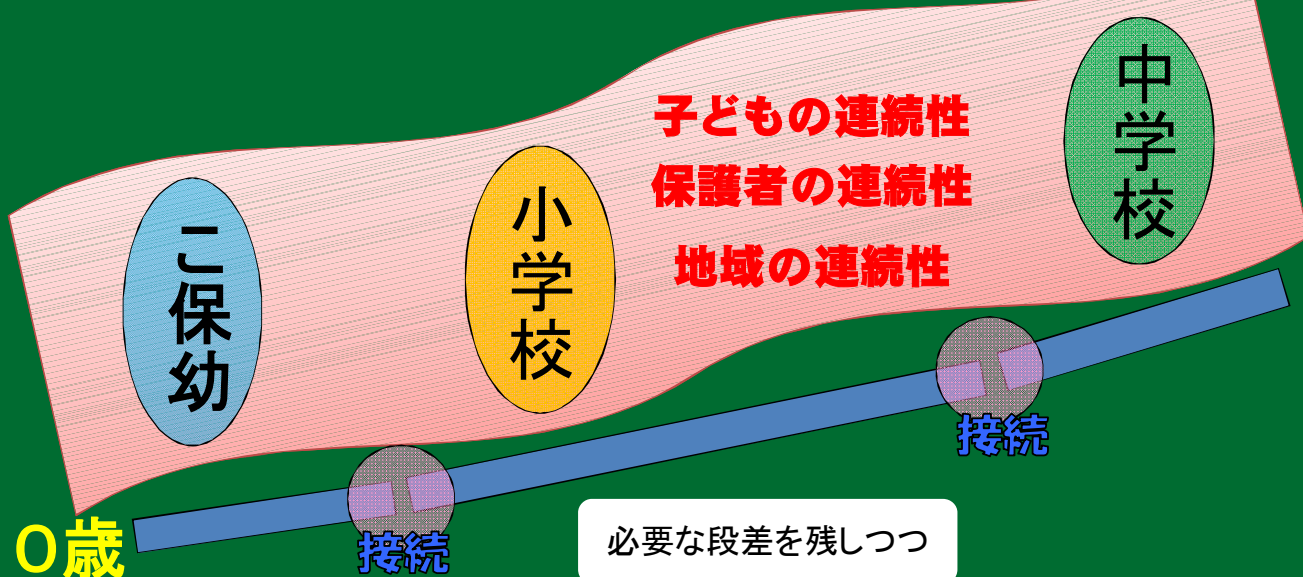
市民協働の人づくりのスローガン  
元気な子ども、元気な学校、元気なまち！

## 岡山市地域協働学校の理念

- 中学校区を一つの地域と見なし、
- 学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら、
- 元気な学校、元気な子どもを
- 地域で持続的にはぐくんでいく

## 中学校区単位で指定することの意義

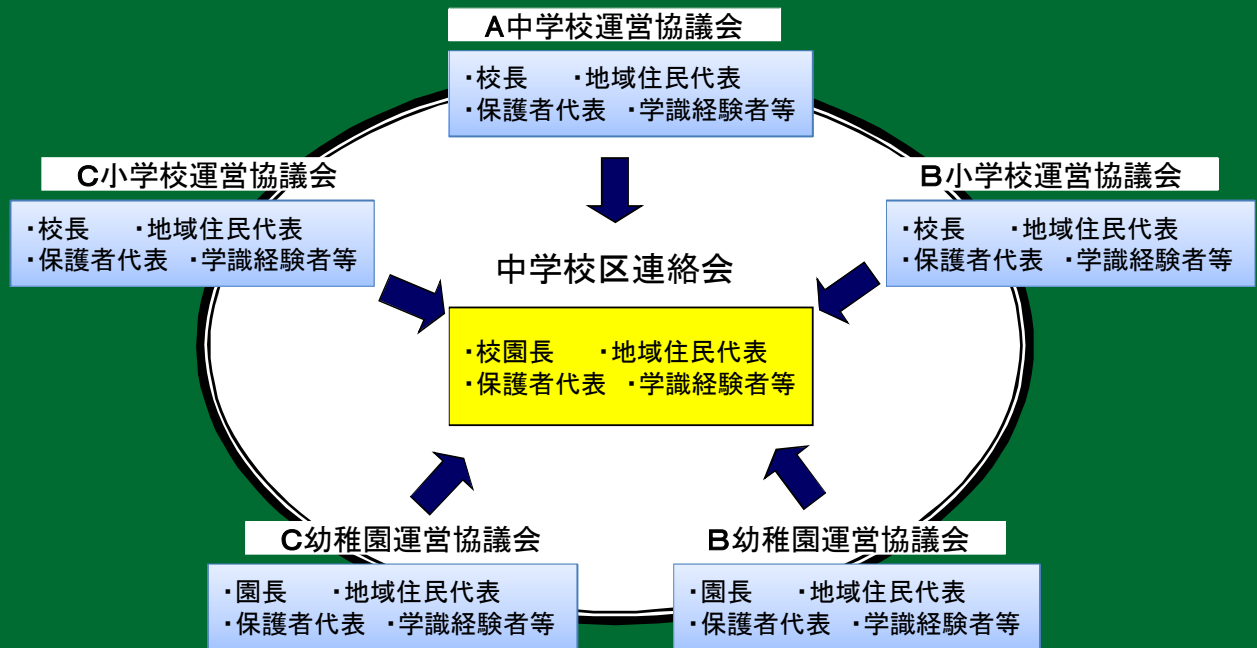
「認定こども園・保育園・幼稚園・小学校・中学校(高等学校)が、**15歳**  
共通の課題をもった運命共同体であるという意識」



就学前から義務教育修了までを、段差のない連続した流れに!

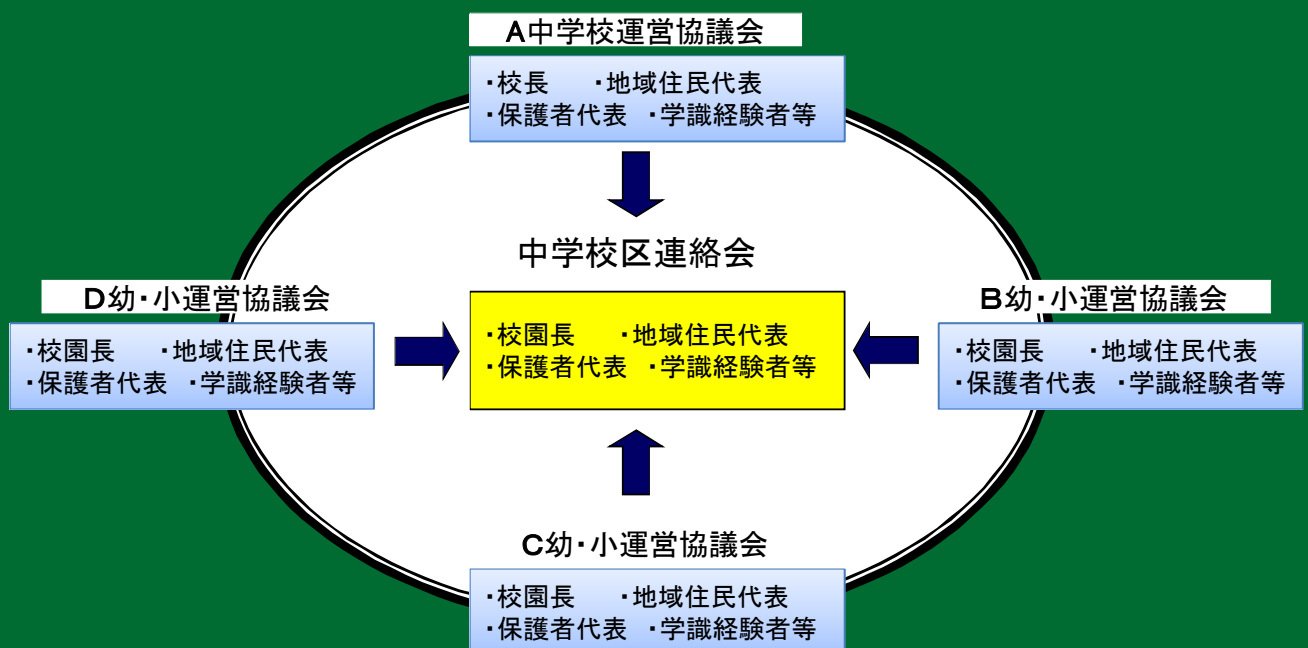
**学びの連続性 = 岡山型一貫教育**

# 岡山市地域協働学校の組織づくり①-1



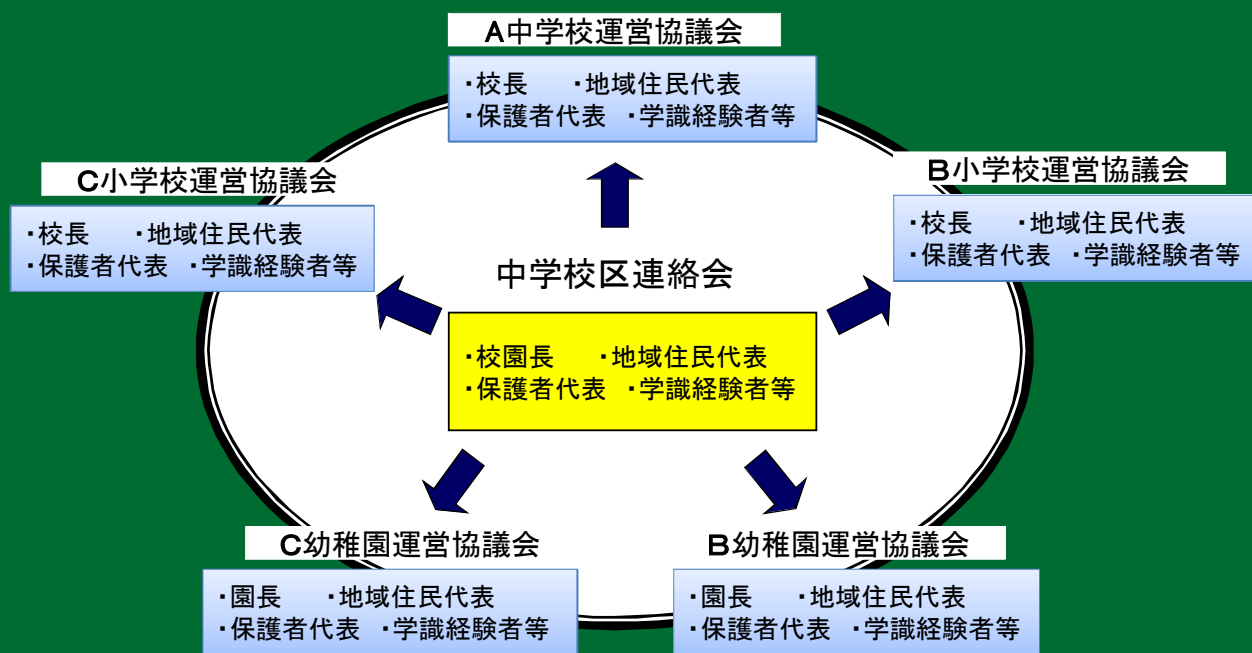
各学校園ごとに運営協議会を組織する形

# 岡山市地域協働学校の組織づくり①-2



幼稚園・小学校の運営協議会を合同で組織する形

# 岡山市地域協働学校の組織づくり②



各学校園の運営協議会≡連絡会の形

## はじめに 学区の概要

- I 「めざす子ども像」 ～誕生物語～
  - II 「めざす子ども像」 ～浸透物語～
  - III 0歳から15歳を見通した「一貫した柱」
  - IV 夢実現プログラム(進んで学び)  
～「夢づくりノート」誕生～
  - V 体験型「キャリア教育」 ～飛び出せ「夢づくりノート」～
  - VI 子どもからのメッセージ
  - VII これからの地域協働学校の柱  
～H27年度からH29年度～
  - VIII 地域協働学校に取り組んで  
～中山中学校区の変身ぶりは～
- おわりに 地域協働学校の副産物  
～風車のように好循環な関係～

# 各小学校区の学校園&中学校で 地域協働学校運営協議会 (年3~6回)



## I 中学校区の「めざす子ども像」 誕生物語



①なぜ、「めざす子ども像」の統一が必要だったのか？

きっかけは・・・



①なぜ、「めざす子ども像」の統一が必要だったのか？

各学校園のめざす子ども像に  
一貫性がない

学校園・家庭・地域で  
「ブレないもの」があると  
子育てに戸惑わない

「ブレないもの」とは  
「共有した夢・目標」である

➡「めざす子ども像」の統一をすすめる



②どのようにして、「めざす子ども像」を決めたのか？

中学校区全戸（約7000戸）にアンケート調査  
「どんな子どもに育ててほしい？」

➡ その結果・・・

- ・ 元気な子
  - ・ 優しい子
  - ・ 思いやりのある子
  - ・ あいさつのできる子
  - ・ お手伝いのできる子
  - ・ 自分のことが大好きになれる子
  - ・ ふるさとを愛する子
- など



## ②多くの中からどのようにして選んだのか？

町内会長、婦人会、民生委員、愛育委員、  
老人クラブ、校長、園長…

「みんな集合！みんなで考えよう！」



3つの軸に分類…

しつけ      学び      人間関係

その結果…

笑顔で  
あいさつ

進んで  
学び

みんなの  
ために  
働く

約2年間の熟議を経て決定

## II 中学校区の「めざす子ども像」 浸透物語



「めざす子ども像」を  
「オール中山」で進めるための  
具体的な手立ては??

「見える形」で作ったのは…



「めざす子ども像」を「オール中山」で  
進めるための具体的な手立ては??



手立て①

リーフレット  
『ももたろう子育て応援』  
作成・配付

このリーフレットを作るきっかけは？

中山中学校区独自のものを、学校園・  
家庭・地域がタッグを組んで作りたい！

中山中学校区の子育てを応援したい！  
「めざす子どもの姿はこれですよ！」  
「みんなが子育てを応援しているよ!」



このリーフレットの売りは？



0歳から15歳、年齢に応じて、子育ての具体的な行動指針が示され、わかりやすい

学校園・家庭・地域の役割が、わかりやすく  
はっきり示されている



# リーフレット作成にあたり、役割分担は？

### 笑顔であいさつ

#### しつけ

～大人が笑顔でまず“おはようございます”～

- 家族みんなで生活のリズムを整えましょう。
- 早寝・早起き・朝ごはん・朝うんちを習慣づけましょう。
- 夜は時間を決めて、部屋を暗くして深い眠をする工夫をしましょう。前はカーテンや窓を開け、気持ちよく起きられるようにしましょう。
- 朝、昼、夜の食事をきちんととり、好き嫌いをなく、残さず食べられるようにしましょう。
- 基本的な生活習慣や態度を身につけましょう。
- 「おはようございます」「おやすみなさい」「こんにちは」「ありがとうございます」「たいたいよ」「おかしなさい」「ごめんなさい」「かして」「いただきます」「いいでますよ」など基本的な言葉がきちんと使えるようにしましょう。
- 名前を呼ばれたら、「はい」と返事をしましょう。
- 前向きは、最後まで自分でできるようにしましょう。
- 文房具は自分で使えるようにしましょう。
- うがいや手洗いの習慣をつけましょう。(帰宅後・食卓の前後など)

### 乳幼児

#### 進んで学び

#### 学び

～子どもは遊びが仕事です！～

- 楽しく生活すること、遊ぶことがすべて学びです。
- 親子で規則正しい生活をしながら、生活の仕方を知り、いろいろな体験を通して、五感（みる・きく・におう・味わう・ふれる）を刺激しましょう。
- 戸外でしっかりと太陽を浴びて遊びましょう。遊びは心と体の成長にとってとても大切です。
- 自然の中で、豊かな感覚を体験して、豊かな感性を育てましょう。
- 親や友達と遊びながら、生活や遊びの中にルールや約束があることを知り、守れるようにしましょう。
- 親が紙本を読んだり聞かせましょう。親のめくりを感じながら一緒に共感するときは、子どもの心や言葉を育てます。
- 読めば読むほど、子どもは、子どもや言葉を知り、大切に感じます。
- 好きなこと、得意なことをさがして、ほめて伸ばしてあげましょう。

### みんなのために働く子

#### 人間関係

～人は一人では生きていくことができません「ありがとう」「どういたしまして」のくりかえし！～

- 温かい家庭環境をつくりましょう。
- 家庭は子どもが初めて出会う小さな社会集団です。社会の一員として生きていく基礎は家庭にあります。
- 家族での会話に大切にし、お互いの話を聞き合います。
- お互いを尊重し合うことが、愛着や安心感を生み出します。感謝の気持ちをかけ合い、しっかりとほめ、愛されていると実感できる家庭にしましょう。
- 家族の一員として役割分担をし、片付けや手洗いを継続させて、助け合いのある家庭にしましょう。
- 近隣や地域社会の人との交流をもちましょう。
- たくさんのお友達としっかりと遊びましょう。
- 保護者同士、保護者と地域の人々があいさつや会話などを交わしてつながりを持ち、子どもの育ちを支え合ひましょう。
- 地域のゴミ拾いや活動に参加して、いろいろな人とふれ合ひましょう。

## 乳幼児期 保育園・幼稚園の先生と保護者

# リーフレット作成にあたり、役割分担は？

小学校低学年	小学校高学年	中学校	小学校低学年	小学校高学年	中学校
<p>◆あいさつをしつぱ子どもへの大切なお知らせです。子どもが家庭で身につけたことば、生活する生活態度を、</p> <p>◆あいさつは親子の心をつなぐ鍵です。</p> <p>◆「おはようございます」「おやすみなさい」「いただきます」「ごめんなさい」「かして」「いただきます」「いいでますよ」など基本的な言葉がきちんと使えるようにしましょう。</p> <p>◆名前を呼ばれたら、「はい」と返事をしましょう。</p> <p>◆前向きは、最後まで自分でできるようにしましょう。</p> <p>◆文房具は自分で使えるようにしましょう。</p> <p>◆うがいや手洗いの習慣をつけましょう。(帰宅後・食卓の前後など)</p>	<p>◆学習(勉強)は「学習」のためのものです。</p> <p>◆学習(勉強)は「学習」のためのものです。</p> <p>◆学習(勉強)は「学習」のためのものです。</p> <p>◆学習(勉強)は「学習」のためのものです。</p>	<p>◆温かい家庭環境をつくりましょう。</p> <p>◆家庭は子どもが初めて出会う小さな社会集団です。社会の一員として生きていく基礎は家庭にあります。</p> <p>◆家族での会話に大切にし、お互いの話を聞き合います。</p> <p>◆お互いを尊重し合うことが、愛着や安心感を生み出します。感謝の気持ちをかけ合い、しっかりとほめ、愛されていると実感できる家庭にしましょう。</p> <p>◆家族の一員として役割分担をし、片付けや手洗いを継続させて、助け合いのある家庭にしましょう。</p> <p>◆近隣や地域社会の人との交流をもちましょう。</p> <p>◆たくさんのお友達としっかりと遊びましょう。</p> <p>◆保護者同士、保護者と地域の人々があいさつや会話などを交わしてつながりを持ち、子どもの育ちを支え合ひましょう。</p> <p>◆地域のゴミ拾いや活動に参加して、いろいろな人とふれ合ひましょう。</p>	<p>◆学習(勉強)は「学習」のためのものです。</p> <p>◆学習(勉強)は「学習」のためのものです。</p> <p>◆学習(勉強)は「学習」のためのものです。</p> <p>◆学習(勉強)は「学習」のためのものです。</p>	<p>◆温かい家庭環境をつくりましょう。</p> <p>◆家庭は子どもが初めて出会う小さな社会集団です。社会の一員として生きていく基礎は家庭にあります。</p> <p>◆家族での会話に大切にし、お互いの話を聞き合います。</p> <p>◆お互いを尊重し合うことが、愛着や安心感を生み出します。感謝の気持ちをかけ合い、しっかりとほめ、愛されていると実感できる家庭にしましょう。</p> <p>◆家族の一員として役割分担をし、片付けや手洗いを継続させて、助け合いのある家庭にしましょう。</p> <p>◆近隣や地域社会の人との交流をもちましょう。</p> <p>◆たくさんのお友達としっかりと遊びましょう。</p> <p>◆保護者同士、保護者と地域の人々があいさつや会話などを交わしてつながりを持ち、子どもの育ちを支え合ひましょう。</p> <p>◆地域のゴミ拾いや活動に参加して、いろいろな人とふれ合ひましょう。</p>	<p>◆温かい家庭環境をつくりましょう。</p> <p>◆家庭は子どもが初めて出会う小さな社会集団です。社会の一員として生きていく基礎は家庭にあります。</p> <p>◆家族での会話に大切にし、お互いの話を聞き合います。</p> <p>◆お互いを尊重し合うことが、愛着や安心感を生み出します。感謝の気持ちをかけ合い、しっかりとほめ、愛されていると実感できる家庭にしましょう。</p> <p>◆家族の一員として役割分担をし、片付けや手洗いを継続させて、助け合いのある家庭にしましょう。</p> <p>◆近隣や地域社会の人との交流をもちましょう。</p> <p>◆たくさんのお友達としっかりと遊びましょう。</p> <p>◆保護者同士、保護者と地域の人々があいさつや会話などを交わしてつながりを持ち、子どもの育ちを支え合ひましょう。</p> <p>◆地域のゴミ拾いや活動に参加して、いろいろな人とふれ合ひましょう。</p>

## 少年期(小学校:低学年・高学年) 小学校の先生と保護者 少年期(中学校) 中学校の先生と保護者

# リーフレット作成にあたり、役割分担は？



その他は・・・

校長と  
地域住民

夏季休業中に話し合いを重ねるにつれ、  
「子どもの未来を考えることは、  
地域の未来を考えていることだ」  
と感じてきた



# リーフレット完成！その活用は？



中学校区全戸(約7000戸)に配付  
「家庭でよく目につく所  
(冷蔵庫など)に貼ってほしい」

熊代会長が各保幼小中の入学式で  
保護者にリーフレットの説明



「めざす子ども像」を「オール中山」で  
進めるための具体的な手立ては??

手立て②

子どもたちに出番をつくらう

# 『子どもたちが主役 看板・ポスター作り』



四つの小学校から  
募集、決定!



子どもの作品を  
ポスターに採用



中山小



平津小



馬屋下小



中山中

「めざす子ども像」を「オール中山」で進めるための具体的な手立ては??

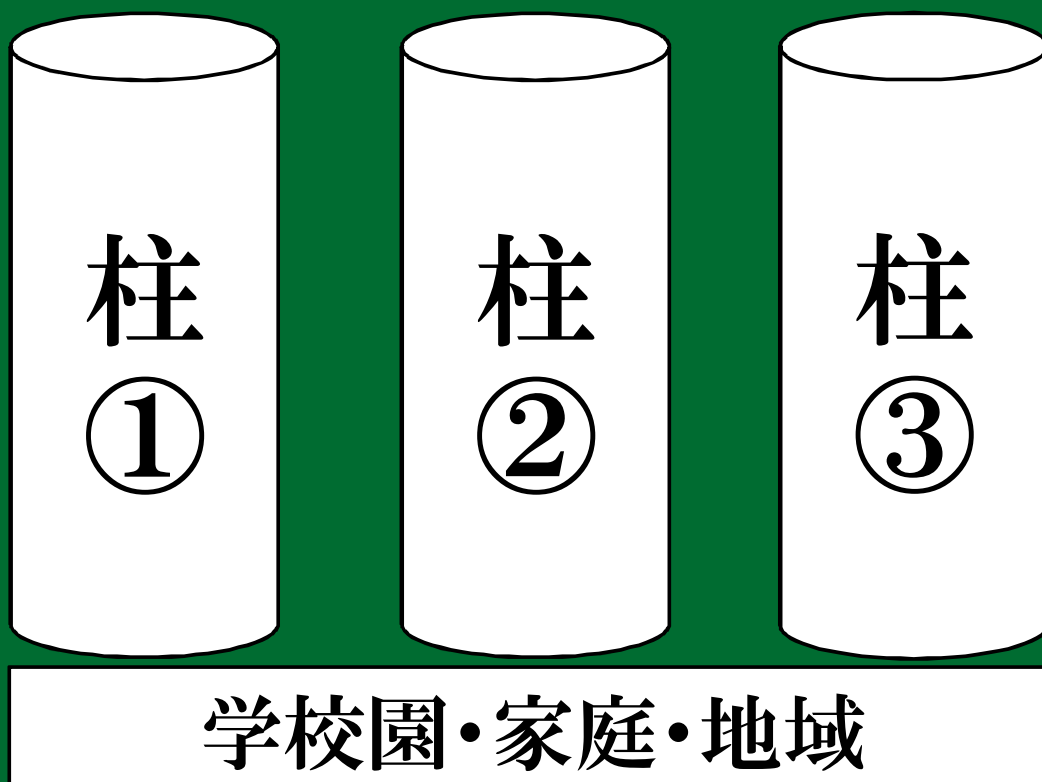


子どもたちに出番をつくることで『地元への愛着や自己肯定感が高まっていく』

# 「めざす子ども像」 浸透物語



## Ⅲ 0歳から15歳を見通した「一貫した柱」



H18年度からH23年度までの6年間

柱①

笑顔で  
あいさつ

柱②

進んで  
学び

柱③

みんなのために  
働く

学校園 ・ 家庭 ・ 地域

めざす子ども像の認知 → 特に学校園の教職員

H24年度からH26年度までの3年間

柱①

めざす子ども像の  
浸透

柱②

あいさつ運動の  
発展

柱③

夢実現プログラム  
実施

「夢づくりノート」の開始

学校園 ・ 家庭 ・ 地域